

JAIC

大学・学生・企業をつなぐキャリア情報誌

キャリアのミカタ

2022.Dec Vol.33



開催報告12月14日大学職員様向けセミナー

【23卒版】年末年始の就職支援の手引き

2024年卒支援

IT業界志望者特化支援・新卒エンジニアコース開始

【23卒版】年末年始の就職支援の手引き

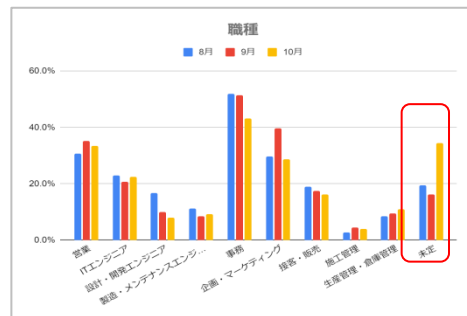
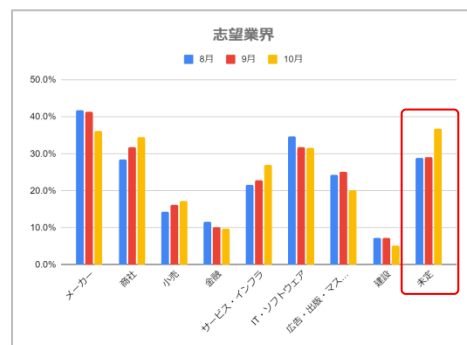
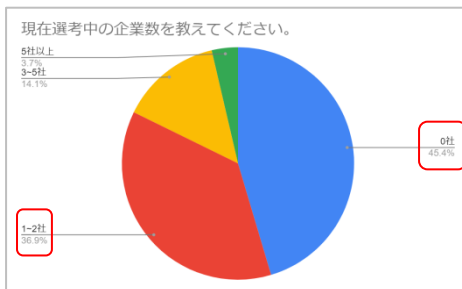
2022年12月14日(水)15:00～16:00に、大学職員様向けセミナー「進路未決定者を動かす！【23卒版】年末年始の就職支援の手引き」を開催しました。

■就職を続ける学生の傾向と悩み

右の棒グラフは、弊社が今年8月～10月に行った研修に参加した学生の就活状況に関するアンケート結果です。志望業界・職種とも8～10月で多少の変動がありますが、最も増えたのは「未定」という回答でした。また、下の円グラフは選考中の企業数を示したのですが、約8割の学生が0社（全く受けていない）か、1～2社しか受けていないという結果が出ました。実際、当社が学生を支援する中でも、以下のような理由で行動が止まってしまっている、という悩みをよく耳にします。

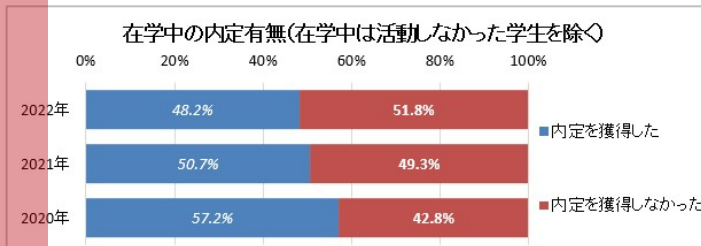
行動が止まっている理由

- ・希望進路へ進めなかった
- ・慎重に受けた
- ・こだわりがある
- ・自信が無い
- ・何をしたいかわからない



マイナビが実施した「2022年度 既卒者の就職活動に関する調査」によると、既卒で就職活動をしている人のうち、在学中に内定を取得していない学生は近年増加傾向にあるという結果が出ており、2022年度では、半分以上が在学中に内定を取得していなかったということがわかります。中には、新卒での就職活動をあきらめ、既卒として方向転換した人もいます。既卒を受け入れる会社は10年前に比べて約10倍に増えているといわれていますが、新卒就活のように、待っていれば情報が入ってくるというわけではないので、そのままフリーターをずるずると継続してしまう人も少なくありません。

期間：2022年8月1日～2022年10月18日
対象：ジェイックで主催、運営する23卒向け研修にご参加頂いた学生 回答数：575件



※マイナビ 2022年度 既卒者の就職活動に関する調査 より引用

■既卒就活のメリット・デメリット

卒業まで残り僅かとなったこの時期は、「既卒を視野に入れて就職活動をする」という学生も出てきます。では、私たちはそうした学生に対してどのようなアドバイスをすればよいのでしょうか。ここからは、既卒就活のメリット・デメリットを解説します。

既卒就活のメリット

1) そもそも昔ほど既卒就活は難しくない

卒業しても昔ほど就職が難航するということは少なくなっています。先に述べたように、既卒を受け入れる会社は10年前に比べて約10倍に増えています。また、企業の「第二新卒」の採用が活発（大々的）になるのに伴い、弊社のような就職支援会社も増えてきています。進路未定のまま卒業しても、「第二新卒」としての就職活動は、昔と比べるとやりやすくなっていることも事実です。

2) 学業など他のやるべきことに集中できる

単位が足りない中、就職活動と学業を並行して行い、内定は取ったものの単位は落としてしまい、結局、内定辞退せざるを得なくなった、という話も毎年聞きます。学業に集中して、まずは卒業に向けて取り組むことができるのも既卒就活のメリットでしょう。

3) 焦って就活失敗パターンは回避できる

「とりあえず就職しようと思って入社したらブラック企業だった。後悔している」という相談は毎年多いです。弊社の既卒者支援においても、4月・5月は「早期退職をした（考えている）」という新卒社会人が多く相談に来ます。「とりあえず入社」で経歴に傷をつけてしまうよりは、納得のいく企業に入社して長く勤められる環境を手に入れたいものです。

そうはいつでも、既卒就活のデメリットも無視はできません。

既卒就活のデメリット

1) 新卒就活よりも大変なことは間違いない

「既卒者を受け入れている企業を探すのに苦労したか」という問いに対して、約6割の学生が「YES」と回答しています。学生に伝えるときは、実際に既卒就活をした先輩が何に苦労したのかを同時に伝えましょう。企業の既卒者の受け入れが広がっているとはいえ、それでも「募集している企業を探しづらい」「仲間がおらず進捗が分からない」といった理由で「苦労する」と感じる人が多いです。また、いわずもがな、時間が経過すればするほど就職活動の難易度は上がっていきます。

既卒者を受け入れている企業を探すのに苦労したか？

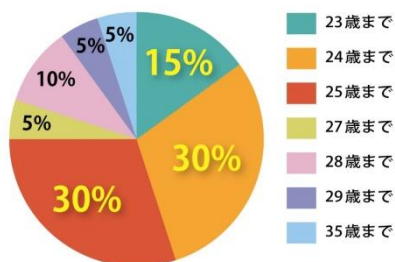
YES 60.3%

既卒の就活で大変なこと

- 1.既卒者としての活動の仕方がわからない
- 2.既卒者募集をしている企業が見つからない
- 3.既卒の募集が少ない
- 4.新卒の様に仲間がいないので進捗が分からない
- 5.既卒として就活している理由を聞かれる

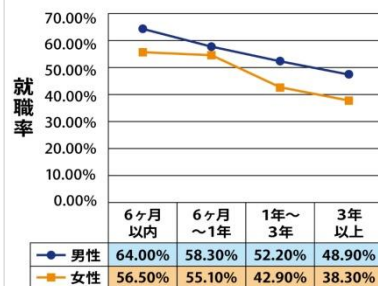
※マイナビ 2022年度 既卒者の就職活動に関する調査 より引用

未経験者を採用するなら何歳までか



※リクナビNEXT市場調査アンケートより引用

フリーターから正社員への就職状況



※厚生労働省HP 若者雇用関連データより引用

2) 「既卒」になるよりも「経験者」になる方が有利

1社目の会社が心から納得のいく会社でなかったとしても、その会社で数年働くことで、転職市場では「経験者」として扱われることになります。特定のスキルが重視される職種を希望する場合を除いては、「働いていた」という事実だけで、日本の若手就活は有利になります。日本の採用は、多くの企業で人を採用して、仕事を割り当てる『メンバーシップ型雇用』

の形態をとっています。メンバーシップ型雇用では、採用時には社会人基礎力などが重視されます。しかし、現在多くの企業で導入を模索しているのが『ジョブ型雇用』です。ジョブ型雇用では、採用時点で何の業務を行うかが明確に決まっています、どんな仕事ができるのかということが重要視されます。未経験の既卒として就職活動をするよりも、一度「経験者」になってから、「自分に何ができるのか」を転職活動時に伝えられるほうが、採用可能性は広がるでしょう。

「人」に「仕事」をつける

メンバーシップ型雇用

- ・何の業務を行うかが明確に決まっていない
- ・採用時には特定のスキルより、社会人基礎力や人柄を重視

「仕事」に「人」をつける

ジョブ型雇用

- ・何の業務を行うかが明確
- ・採用前に特定のスキルがあることが前提

移行を模索

3) 新卒入社の恩恵も無視できない

多くの企業が、新卒入社の社員には一定の研修制度を用意していますが、中途入社の社員に対しては、OJTで仕事を教えることが多いです。しかし「社会人としての基礎」の学習を飛ばして業務を行うことは、自身が管理職に就いたり、転職して違う文化の会社に移ったりした時に弊害となる可能性があります。また、メンバーシップ型の雇用をする企業が多い現状では、若手は社会人基礎力があれば採用される可能性が高いといえます。新卒社員向けの研修で社会人基礎力を身に付けられることは、新卒入社の恩恵の1つであるといえるでしょう。

キャリアのミカタplusで、セミナーアーカイブ動画を公開中！

本セミナーでは、ほかにも

- ・学生への効果的なアプローチ方法
- ・卒業間際の未決定学生と関わる際に大切なスタンス
- ・行動量を増やすためのアドバイスの方法

など、今日の学生支援でも使える内容をご紹介します！ぜひご覧ください。

【視聴方法】キャリアのミカタplus会員登録（まだの方）⇒TOPページ⇒メニュー『動画一覧』
⇒「12月14日大学職員様向けセミナー【23卒版】年末年始の就職支援の手引き」を選択



会員登録⇒ <https://form.run/@jaic-career-mikata-regist>

IT業界志望者特化支援 新卒エンジニアコース開始

弊社では、2024年卒学生を対象に、IT業界に特化した就職支援を行います。

■IT業界の需要と市場感

コロナ禍をきっかけに「新しい生活様式」が定着する中で注目されているのは、ITの力です。人と人との接触が制限される中、ITの導入や活用が世界中で進みました。さらに、近年、経済社会のデジタル化が進み、それに伴いIT業界の市場規模も拡大し続けているのは、周知の事実です。最近では、ビッグデータやAI、5Gといった新しい技術が登場してきていたり、ネットショッピングやICカードなど身近なところでもIT化が主流になってきたりしています。

経済産業省によると、2030年にはIT人材が最大で79万人不足するといわれています。日本が世界に後れを取らないためにも、IT人材の育成は急務です。前頁でも説明したように、「ジョブ型雇用」も進みつつあります。IT業界で働き、時代が求めるスキルを身に着けることによって、さまざまな会社で必要とされ、選択肢が増えたり、年収が増えたりと、大きなメリットを享受することができます。

■24卒IT特化就職支援（新卒エンジニアコース）

そんな中で、弊社では株式会社UPDATEDと協力して、IT業界特化の就職支援（新卒エンジニアコース）を実施します。

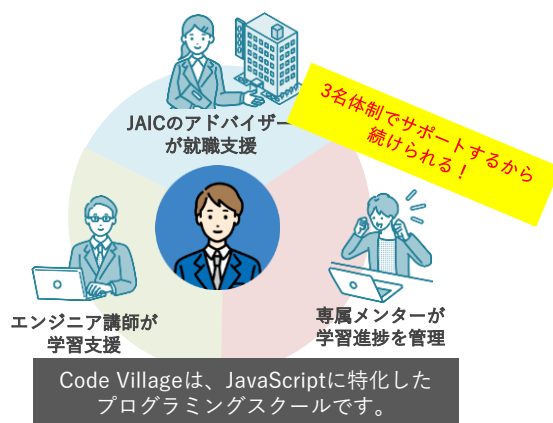
<コースの流れ>



新卒でエンジニアになりたいと思っている24卒就活生が対象。
無料で、プログラミングスクール受講とジェイックの就職サポートが同時に受けられるコースです。

- ①ジェイックのキャリアアドバイザーとキャリア面談
エンジニア就職・本コース受講の希望者には、
プログラミングスクールへの本入会をしていただきます。
- ②プログラミングスクール（Code Village）受講（約2か月）
- ③Code Villageを卒業・IT企業のご紹介
プログラミングスクール受講完了というお墨付きの状態
で企業選考に臨めます。

（カウンセリングの結果、IT業界を目指さない方やスクールを途中退会された方もジェイックで通常の就職支援を行います。また、途中退会の場合も費用は一切かかりません。）



ITスキルが求められる中、プログラミングスクールの需要も高まっています。プログラミングを学ぶ方法は、独学かスクールに通うかの2つの方法がありますが、独学は費用を安く抑えられるものの目的を見失いやすく、9割の人が挫折するといわれています。一方でスクールは、サポート体制があるところも多く、独学よりも挫折せずにスキルを身に着けることができるでしょう。しかし、費用は最低でも30万円はかかるところが多く、学生にとってはかなり大きな出費となります。

「新卒エンジニアコース」では、学習の進捗管理はCode Villageの専属メンター、学習内容の不明点はCode Villageのエンジニア講師、就職サポートはJAIC、という3名体制でひとりひとりの学生をサポートしますので、目的を見失わずにエンジニアのスキルを身に着け、就職に活かすことができます。もちろん、エンジニア就職をするか悩んでいるという方も大歓迎。弊社のキャリアアドバイザーとのカウンセリングで、就職活動の方向性を一緒に決めていきます。学生への案内資料は右のQRコードからダウンロードいただけます。

新卒エンジニアコース
案内用リーフレット
<https://onl.bz/rHxNErk>



最後までご覧いただき、ありがとうございました。少しでも貴校の就職支援の参考になれば幸いです。
最後にアンケートのご協力をお願いいたします。今後のキャリアのミカタの参考にさせていただきます。
率直なご意見をお寄せください。右のQRコード、もしくはURLからご回答をお願いいたします。

現在、多くの大学様から、就職支援のご依頼を受けております。
お困りのことがございましたら、お気軽にお問い合わせください。
最新情報や貴校に合わせた支援内容をご提供させていただきます。

キャリアのミカタアンケート
<https://forms.gle/kT65FRVdsrj1FXgk8>

